

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)								
事業名	地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	文化庁芸術文化課		芸術文化課長 舟橋 徹		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-1 芸術文化の振興				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第4条、第14条、第35条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地方公共団体が企画する優れた文化芸術の創造発信事業を積極的に支援し、文化芸術活動を活性化させ、地域文化の再生やコミュニティの再構築、ひいては、地域の活性化を促すことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>○舞台芸術(音楽、演劇、舞踊等)、美術、メディア芸術などを中心とした地域振興のための以下の事業を対象とし、事業費の1/2の範囲で補助する。</p> <p>【事業のメニュー】</p> <p>①文化芸術創造発信イニシアチブ事業 ②文化芸術による「心の復興」事業 ③メディア芸術地域活性化事業 ④高校生優秀文化団体国際大会派遣事業 ⑤国立劇場を活用した現代舞台芸術の普及事業 ⑥文化芸術の拠点形成及び効果測定調査事業</p> <p>○「文化芸術による「心の復興」事業」を効果的に行い、文化芸術による復興の在り方や拠点形成等に必要な情報提供等を行う。また、文化芸術に関する被害状況や文化芸術活動へのニーズ、文化芸術による復興事業の効果測定調査等を行う。⑥文化芸術の拠点形成及び効果測定調査事業</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算			3,215	2,615		
		補正予算			-			
		繰越し等			-			
	計			3,215	2,615			
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	事業の実施後も継続して地域における活発な芸術文化活動が行われるよう、文化振興条例の制定・検証、文化振興プラン等の策定が行われる。			達成度	%			
	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	実施地方公共団体の人口に対する事業への参加人数の割合		活動実績 (当初見込み)				-	
				()	()	()	(1%)	
単位当たりコスト	21(百万円/事業)		算出根拠	単位あたりコスト=平成24年度予算額((目)文化芸術振興費補助金) /補助事業の実施件数 =3,150百万円/152事業				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1百万円	1百万円	「文化芸術創造発信イニシアチブ事業」の積算事業数見直しによる減				
	職員旅費	2百万円	2百万円					
	委員等旅費	4百万円	4百万円					
	庁費	1百万円	1百万円					
	文化芸術振興委託費	58百万円	58百万円					
	文化芸術振興費補助金	3,150百万円	2,550百万円					
計	3,215百万円	2,615百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)の重点戦略に挙げられており、国として実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	補助事業者の決定にあたっては、地方公共団体が策定した計画に基づいて実施する取組について、外部有識者を含む審査委員会の審査を経て決定している。 また、委託事業の受託者の選定にあたっては、企画競争を行い、競争性を確保している。 一方、事業実施の対象となる経費については、補助事業及び委託事業ともに、それぞれ補助要綱及び委託要項で厳格に定めている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえ適切に実施していくこととする。 本事業を地方公共団体が活用し、地域の特色ある文化芸術振興の取組等を実施することにより、地域が活性化することが期待される。 		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、地方公共団体が地域の特色ある文化芸術振興の取組等を実施していくことにより、地域が活性化することを目的とした補助事業であり、現時点で執行面における特段の課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)</p> <p>http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新24-0054

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.地方公共団体			E.地方公共団体		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	@100百万円×12事業+@10百万円×100事業(イニシアチブ事業)	2,200	補助金	@17.5百万円×5事業+@5.15百万円×10事業(新国立劇場を活用事業)	139
計		2,200	計		139
B.地方公共団体			F.民間団体等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	@100百万円×3事業+@50百万円×7事業(「心の復興」事業)	650	人件費	賃金、謝金	44
			旅費	旅費	5
			雑役務費	印刷製本費等	3
			その他	通信運搬費、会場借料、会議費、消耗品費	1
			一般管理費	一般管理費	5
計		650	計		58
C.地方公共団体			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	@12.5百万円×8事業(メディア芸術地域活性化事業)	100			
計		100	計		0
D.地方公共団体			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	@7,807百万円×4事業+@9,924百万円×3事業(高校生派遣事業)	61			
計		61	計		0